柿本人麿

評釋篇

卷之下

齋藤茂吉

齋藤茂吉著

柿本人麿

岩波書店刊行

昭和十四年二月五日印刷
昭和十四年二月十日第一刷發行
昭和十四年十月十日第二刷發行

柿本人麿評釋篇卷之下
定價六圓五拾錢

著者　齋藤茂吉
東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
發行者　岩波茂雄
東京市神田區錦町三丁目十一番地
印刷者　白井赫太郎

精興社印刷　大森製本

東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
發行所　岩波書店
電話九段(33)一八七・一八九・一八八番
振替口座東京二六二四〇番

小店出版物中、萬一不完全な品（落丁・亂丁等）がありました節は、御手數乍ら洩れなく御申出下さる事を御願ひ致します。たとひ御讀後でありましても早速お取替致します。

自序

本卷は、「柿本人麿評釋篇」の下半をなし、萬葉集中、柿本朝臣人麿歌集に出づ等と左注せられた歌、柿本朝臣人麿之集歌、柿本朝臣人麿歌集歌曰等といふ題の附けられた歌、その全部を評釋したものである。

さうして、一般の學説に據る歌數は、長歌二首、短歌三百三十三首、旋頭歌三十五首であるが、それに、石井・武田氏等の考説に據つて增補すると、總計、長歌二首、短歌三百五十三首、旋頭歌三十五首となる。

本卷評釋のはじめの意圖は、契沖・眞淵以來の説に從つて、人麿歌集には、人麿作以外の歌を多分に含有してゐると看做し、先づその中から人麿作だらうと想像し得るものを引拔いて評釋しようとしたのであつた。そして約二百首あまりの短歌及び旋頭歌を選出して、それを評釋

し終つたのは、昭和九年四月であつた。然るにその後、土屋文明氏の奬勵により、人麿歌集の歌全部を評釋することとなつたので、閑暇を得つつ增補して行き、その全部の評釋を終へたのは昭和十一年八月であつた。さうしてその評釋した一首一首を萬葉集の卷によつて配列したのが卽ち本卷であるから、形式の不同、繁簡の錯落はおのづから免れ得ないところであつた。また、或る歌の評釋が簡單であるから、その歌を輕く評價したといふわけでもなく、却つて最初選んだ歌の方に簡單な評釋が多いといふ傾向もあつたほどである。それは一首一首讀まれる時は明かになるとおもふが、念のために一言を添へた。

本卷の歌の評釋は、一見容易なるがごとくにして、實際はなかなかそんなものではなかつた。私の學力を以てしては奈何とも爲しがたいものは幾首もあつた。けれども終身未定の慨を保ちつつ到頭評釋の稿を終はつた。而して分からぬものは分からぬとして、先進の諸說を揭げ、不明をば强ひて糊塗せなかつたつもりである。

人麿歌集の歌は、明かに他人の名の署せられてゐるものはそれを取除けるとして、概ね人麿

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

の作だらうと考へるのは、近時學界の傾向のやうに見える。つまり、契沖・眞淵等が考へたよりも、まだまだ多く、人麿の作が含有せられてゐると考へるのであり、或は殆ど總て（取のけたもの以外）が人麿の作だらうと考へる、と謂つた方が寧ろいいかも知れない。さういふ說のやうに見える。けれども、實際に人麿歌集の歌の一つ一つに當つて、考へ且つ味へるに及んで、自分は必ずしも最近の學界の傾向に直ちに贊同することを躊躇するものである。契沖・眞淵等よりも、なほ積極的に人麿作を認容する過程を歩んで來たのであるが、それでも本卷に於ては、自分はどちらかといへば契沖・眞淵の考の方嚮にむかつて還元しつつある結論を得たのではなからうか。

本卷は、昭和十一年九月、原稿を印刷所に交附してから、昭和十三年十月校正を終へたまで滿二ヶ年の歲月を費した。そのあひだ、原稿校閲及び印刷校正には、柴生田稔・佐藤佐太郎・山口茂吉・鈴木三郎の諸氏の力をわづらはしたことは上卷のごとくであるし、資料について、渡部信・尾形鶴吉・藤森朋夫諸氏の助力をあふぎ、また、現下の事變時に際して、かく立派に

發行の出來たのは、岩波書店主岩波茂雄氏の厚意に本づくのであつて、ともに私の甚だ深く感謝するところである。

なほ、解釋について諸先生の教をあふぎ、また、私の原稿の出來たのち、印刷中、種々の有益な研究論文が公にせられたが、それ等のことは終卷の「雜纂篇」に於て明かにしたいとおもつてゐる。

なほ、本卷に、宮内省圖書寮御藏の、「柿本人麿集」を全部附載し得ることの御許可にあづかつたことは、私の謹み感謝するところであつて、柿本人麿の歌が或る時代に、かくの如き體裁に取扱はれ、和歌の世界にいかなる位置を占めつつあつたかを知るうへの貴重なる資料である。

昭和十三年十一月。齋藤茂吉識。

目次

人麿歌集評釋……一
柿本朝臣人麿歌集……三
一　成立・地理分布・歌數……三
二　人麿歌集論諸說（德川時代）……八
三　人麿歌集論諸說（現代）……一六
四　人麿歌集私觀……二二
五　書體……二九
六　異傳……三二

七　影響・流傳……三四
八　長歌・旋頭歌……三七

萬葉集卷二・三所出歌……四一

〔卷二・一四六〕　幸于紀伊國時見結松歌……四一
〔卷三・二四四〕「三吉野之御船乃山爾」……四五

萬葉集卷七所出歌……四七

〔卷七・一〇六八〕　詠天……四七
〔卷七・一〇八七〕　詠雲（一）……五〇
〔卷七・一〇八八〕　詠雲（二）……五六
〔卷七・一〇九二〕　詠山（一）……六八
〔卷七・一〇九三〕　詠山（二）……七〇
〔卷七・一〇九四〕　詠山（三）……七一
〔卷七・一一〇〇〕　詠河（一）……七二

〔卷七・一一〇一〕詠河（二）……七五
〔卷七・一一一八〕詠葉（一）……七九
〔卷七・一一一九〕詠葉（二）……八一
〔卷七・一一八七〕羈旅（一）……八四
〔卷七・一二四七〕羈旅（二）……八六
〔卷七・一二四八〕羈旅（三）……九〇
〔卷七・一二四九〕羈旅（四）……九三
〔卷七・一二五〇〕羈旅（五）……九五
〔卷七・一二六八〕就所發思（一）……九八
〔卷七・一二六九〕就所發思（二）……一〇〇
〔卷七・一二七一〕行路……一〇三
〔卷七・一二七二〕「劒後鞘納野邇」（旋頭歌）……一〇五
〔卷七・一二七三〕「住吉波豆麻君之」（旋頭歌）……一〇九
〔卷七・一二七四〕「住吉出見濱」（旋頭歌）……一一四
〔卷七・一二七五〕「住吉小田苅爲子」（旋頭歌）……一一五

〔卷七・一二七六〕「池邊小槻下」（旋頭歌）……一一八
〔卷七・一二七七〕「天在日賣菅原」（旋頭歌）……一二〇
〔卷七・一二七八〕「夏影房之下邇」（旋頭歌）……一二五
〔卷七・一二七九〕「梓弓引津邊在」（旋頭歌）……一二八
〔卷七・一二八〇〕「擊日刺宮路行丹」（旋頭歌）……一二九
〔卷七・一二八一〕「君爲手力勞」（旋頭歌）……一三四
〔卷七・一二八二〕「橋立倉椅山」（旋頭歌）……一三八
〔卷七・一二八三〕「橋立倉椅川」（旋頭歌）……一三九
〔卷七・一二八四〕「橋立倉椅川」（旋頭歌）……一四一
〔卷七・一二八五〕「春日尙田立嬴」（旋頭歌）……一四四
〔卷七・一二八六〕「開木代來背社」（旋頭歌）……一四六
〔卷七・一二八七〕「青角髮依網原」（旋頭歌）……一五一
〔卷七・一二八八〕「水門葦末葉」（旋頭歌）……一五五
〔卷七・一二八九〕「垣越犬召越」（旋頭歌）……一五七
〔卷七・一二九〇〕「海底奧玉藻之」（旋頭歌）……一六〇

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

〔卷七・一二九一〕「此崗草苅小子」（旋頭歌）……一六三
〔卷七・一二九二〕「江林次完也物」（旋頭歌）……一六四
〔卷七・一二九三〕「丸雪降遠江」（旋頭歌）……一六八
〔卷七・一二九四〕「朝月日向山」（旋頭歌）……一七一
〔卷七・一二九六〕寄衣（一）……一七四
〔卷七・一二九七〕寄衣（二）……一七七
〔卷七・一二九八〕寄衣（三）……一八〇
〔卷七・一二九九〕寄玉（一）……一八三
〔卷七・一三〇〇〕寄玉（二）……一八六
〔卷七・一三〇一〕寄玉（三）……一八九
〔卷七・一三〇二〕寄玉（四）……一九一
〔卷七・一三〇三〕寄玉（五）……一九三
〔卷七・一三〇四〕寄木（一）……一九六
〔卷七・一三〇五〕寄木（二）……一九八
〔卷七・一三〇六〕寄花……二〇一

〔卷七・一三〇七〕寄川……二〇四
〔卷七・一三〇八〕寄海（一）……二〇六
〔卷七・一三〇九〕寄海（二）……二一〇
〔卷七・一三一〇〕寄海（三）……二一一

萬葉集卷九所出歌……二一四

〔卷九・一六八二〕獻忍壁皇子歌……二一四
〔卷九・一六八三〕獻舍人皇子歌（一）……二一八
〔卷九・一六八四〕獻舍人皇子歌（二）……二二三
〔卷九・一六八五〕泉河邊間人宿禰作歌（一）……二二六
〔卷九・一六八六〕泉河邊間人宿禰作歌（二）……二三一
〔卷九・一六八七〕鷺坂作歌……二三三
〔卷九・一六八八〕名木河作歌（一）……二三四
〔卷九・一六八九〕名木河作歌（二）……二三六
〔卷九・一六九〇〕高島作歌（一）……二四〇

〔卷九・一六九一〕高島作歌（二）……二四三
〔卷九・一六九二〕紀伊國作歌（一）……二四五
〔卷九・一六九三〕紀伊國作歌（二）……二四七
〔卷九・一六九四〕鷺坂作歌……二四八
〔卷九・一六九五〕泉河作歌……二五〇
〔卷九・一六九六〕名木河作歌（一）……二五四
〔卷九・一六九七〕名木河作歌（二）……二五六
〔卷九・一六九八〕名木河作歌（三）……二五八
〔卷九・一六九九〕宇治河作歌（一）……二六〇
〔卷九・一七〇〇〕宇治河作歌（二）……二六五
〔卷九・一七〇一〕獻弓削皇子歌（一）……二六八
〔卷九・一七〇二〕獻弓削皇子歌（二）……二七二
〔卷九・一七〇三〕獻弓削皇子歌（三）……二七三
〔卷九・一七〇四〕獻舍人皇子歌（一）……二七四
〔卷九・一七〇五〕獻舍人皇子歌（二）……二七八

〔巻九・一七〇六〕舍人皇子御歌……二八〇
〔巻九・一七〇七〕鷺坂作歌……二八三
〔巻九・一七〇八〕泉河邊作歌……二八四
〔巻九・一七〇九〕獻弓削皇子歌……二八七
〔巻九・一七二〇〕元仁歌（一）……二九四
〔巻九・一七二一〕元仁歌（二）……二九五
〔巻九・一七二二〕元仁歌（三）……二九六
〔巻九・一七二三〕絹歌……二九八
〔巻九・一七二四〕島足歌……三〇〇
〔巻九・一七二五〕麻呂歌……三〇二
〔巻九・一七七三〕獻弓削皇子歌……三〇四
〔巻九・一七七四〕獻舍人皇子歌（一）……三〇八
〔巻九・一七七五〕獻舍人皇子歌（二）……三一〇
〔巻九・一七八二〕與妻歌……三一二
〔巻九・一七八三〕妻和歌……三一三

〔卷九・一七九五〕宇治若郎子宮所歌……三二二
〔卷九・一七九六〕紀伊國作歌（一）……三二七
〔卷九・一七九七〕紀伊國作歌（二）……三二八
〔卷九・一七九八〕紀伊國作歌（三）……三二九
〔卷九・一七九九〕紀伊國作歌（四）……三三一

萬葉集卷十所出歌……三三三

〔卷十・一八一二〕春雜歌（一）……三三三
〔卷十・一八一三〕春雜歌（二）……三三六
〔卷十・一八一四〕春雜歌（三）……三三八
〔卷十・一八一五〕春雜歌（四）……三四〇
〔卷十・一八一六〕春雜歌（五）……三四二
〔卷十・一八一七〕春雜歌（六）……三四四
〔卷十・一八一八〕春雜歌（七）……三四六
〔卷十・一八九〇〕春相聞（一）……三四七

〔卷十・一八九一〕春相聞（二）……三四九
〔卷十・一八九二〕春相聞（三）……三五二
〔卷十・一八九三〕春相聞（四）……三五四
〔卷十・一八九四〕春相聞（五）……三五六
〔卷十・一八九五〕春相聞（六）……三五八
〔卷十・一八九六〕春相聞（七）……三六〇
〔卷十・一九九六〕七夕（一）……三六二
〔卷十・一九九七〕七夕（二）……三六五
〔卷十・一九九八〕七夕（三）……三六八
〔卷十・一九九九〕七夕（四）……三七〇
〔卷十・二〇〇〇〕七夕（五）……三七二
〔卷十・二〇〇一〕七夕（六）……三七四
〔卷十・二〇〇二〕七夕（七）……三七五
〔卷十・二〇〇三〕七夕（八）……三七九
〔卷十・二〇〇四〕七夕（九）……三八〇

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com